

## 成長した子どもたち

学校長 大竹 貴子



今年は特に暖かい日が続き、日の光にも春の気配を感じるようになってきました。「1月は行く 2月は逃げる」とよく言われますが、早くも3月を迎え本年度も残すところあと一月となりました。

2月16日に、保土ヶ谷公会堂で行われた「旭区合同学習発表会」に5組の子どもたちが参加しました。この会は区内の個別支援学級の子子どもたちが日頃の学習の成果を発表するものですが、本校は低学年がフラフープを使った演技を、高学年は合奏を披露しました。毎日一生懸命に練習を続けてきた子どもたち、かなり緊張していることも知っておりましたので、見ている私もドキドキしていました。しかし、大きな舞台の上でスポットライトをあびた子どもたちは、周りの友達と息を合わせ、堂々とすばらしい演技を披露できました。終えた子どもたちの安堵と成功した嬉しさの混ざった表情に、わたしは感動とともに子どもたちの大きな成長を感じました。きっとこの日のことは、一人ひとりの自信につながったことと思います。

昨日は4年生が「ぼくたち、わたしたちの2分の1成人式～10年間の成長を分かりやすく伝えよう」を行いました。1部では、一人ひとりが模造紙にまとめたものを見せながら、自分の小さかった頃の様子や成長してできるようになったこと、将来の夢などについてスピーチしました。また、2部ではそれぞれが発表したいものを選び、合奏や合唱、詩の朗読、英語劇、マットや跳び箱、ソーラン節の演技を披露しました。グループごとに趣向を凝らした発表や子どもだけで協力して会を進行させる姿に、頼もしさを感じました。

1年生は、先日、来年度入学してくる子どもたちに、ランドセルの片付け方や白衣の着方を生き生きと教えていました。すっかり、心は2年生になっていたようでした。ついこの間、入学してきたと思っていた1年生がこんなに成長していたのかと驚かされました。

一つ一つの活動の中で、子どもたちは友達と意見が合わずに悩んだり、うまくできずにあきらめそうになったりしたこともあったかと思えます。しかし、困難を乗り越え、みんなと協力して成功させたという経験は大きな力となり、子どもたちを成長させています。他の学年の子どもたちもそれぞれ1年間で大きく成長しました。

3月17日には6年生97名が卒業を迎えます。中沢小の最上級生として下級生の手本となり、リーダーシップを発揮してくれた立派な6年生でした。

今、1回に8～10人くらいの6年生を校長室に招待し、給食の時間に会食をしています。一人ひとりに将来の夢や中学校でがんばりたいことを発表してもらいながら、得意なことや興味をもっていることなどについて聞いています。どの子からも中学校へ進学する嬉しさや期待が伝わってきます。そして周りの友達がコメントを入れるなどして会話が弾み、楽しい一時となっています。私にとっても、この子にはこんな面があったのかと知ることができるよい機会となっています。卒業式では、その時のことを思い出しながら、一人ひとりに卒業証書を手渡したいと思えます。卒業する6年生並びに保護者の皆様には、心からお祝いを申し上げます。

一年間にわたり、本校の教育活動に対しまして、保護者の方々及び地域の方々にご理解とご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。来年度も教育活動が一層充実するよう教職員一同努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。